

「TURN」平成 30 年度事業一覧

※事業内容等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。

1. 交流プログラム

アーティストが、障害者支援施設や社会的支援を必要とする人の集うコミュニティなどへ赴き、その場所を利用する人や支援者等との交流を重ね、相互に関係する交流プロセスを構築します。



テギョウ・クラフト認定法人クリエイティブサポートレンツ



森山開次とクラフト工房 La Mano



大西健太郎と板橋区立小栗樹島公園

2. TURN LAND

TURN の活動が日常的に実践される場である「TURN LAND」を展開します。

交流先施設の LAND 化

福祉施設や社会的支援を必要とする人の集うコミュニティが主体となり、アーティストとともに、地域住民や一般の人も参加できる時間やプログラムをつくります。通常の施設運営とは異なる「TURN ができる日」として地域にひらき、文化施設としての機能を創り出します。



かみまちハーモニーランド (ハーモニー)



手のプロジェクト 綿から糸へ。(クラフト工房 La Mano)



第2回おとな区鑑 (こども会議)

TURN LAND (田無)

アーティストと交流先施設のメンバーや社会的支援を必要とする人、地域住民等が集まり、TURN の活動を実践できる第三の場として、東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構の圃場を拠点に展開。異なる他者と活動する工夫に満ちた有機的なプログラムの実践を通して関係性を構築し、アートプロジェクトによる、多様な人が集まり交流するダイバーシティの新しいプラットフォームを見出します。



TURN 運営本部

NPO を中心とする事務所機能と、「TURN」の運営を補助する「サポーター」を多く輩出できるよう、研究会や研修プログラム等も実施する情報発信のハブ機能を担います。

3. TURN フェス4

上野の東京都美術館を会場に、各地で開催している「交流プログラム」や「TURN LAND」等が一堂に会します。作品展示やワークショップ、トークイベントやオリジナルプログラム等の実施を通して、TURN の理念を体感する空間、アクセシビリティやダイバーシティに関する理解を深める機会をつくります。

開催概要

- ・会 期:平成 30(2018)年 8 月 17 日(金)～19 日(日)
- ・開 室 時 間:9:30～17:30(入室は閉室の 30 分前まで)
- ・会 場:東京都美術館 ロビー階 第 1・第 2 公募展示室 (東京都台東区上野公園 8-36)



TURN フェス3
山縣良和とこのがっこうとしょうぶ学園



TURN フェス3
富塚絵美とマダム ボンジュール・ジャンジ



TURN フェス3
大西健太郎と板橋区立小茂樹畠山園

4. TURN ミーティング

「TURN ミーティング」は、TURN を共有し、意見交換する開かれた場です。参加アーティストや交流先メンバーなど、TURN プロジェクトの関係者が集い、TURN についてのディスカッションや、スペシャルゲストを招いたトーク等を繰り広げます。

開催概要

- ・日 時:平成 30(2018)年 5 月 13 日(日) 14:00～17:00
平成 30(2018)年 10 月 27 日(土) 時間未定
平成 31(2019)年 2 月 2 日(土) 時間未定
- ・会 場:東京藝術大学 (東京都台東区上野公園 12-8)



第1回TURN ミーティング



第2回TURN ミーティング



第3回TURN ミーティング

5. 海外展開

東京藝術大学及び国内外の文化芸術機関等と連携し、海外でも TURN を展開します。今年度はエクアドル共和国。日本及び現地を活動拠点とするアーティストらが「交流プログラム」を実施し、交流プロセスを通して生まれた作品の展示やワークショップによって発表します。その様子を「TURN フェス4」でも紹介します。



TURN in BIENALSUR (2017年)
ベニー・オテイス・タバとレブカ・デ・コラガリ学校



TURN in BIENALSUR (2017年)
アレンドラ・ミスライとプリンカール



TURN in BIENALSUR (2017年)
永岡大輔、展示会場: MINTREF (プエノスアイレス)

6. 広報・ドキュメント

「TURN」の活動をことばに綴る「TURN NOTE」、「TURN」の一年間を集録する「TURN ジャーナル」を制作、発行します。また、情報紙「TURN 通信(仮)」の発行、公式ウェブサイトや SNS を通して、「TURN」を積極的に発信していきます。

■ TURN とは

「人と違う」ことに価値を見出すアートの特徴を活かし、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの属性や背景の違いを超えた多様な人々の出会いと表現を生み出すアートプロジェクト。アーティストの日比野克彦監修のもと、東京 2020 大会の文化プログラムを先導するリーディングプロジェクトとして平成 27 年度に始動した。平成 29 年度からはオリンピック・パラリンピックの東京 2020 公認文化オリンピアドとして事業を実施。様々な分野の機関と連携・協力してプログラムを展開していくことで、一人ひとりが異なる“その人らしさ”を尊重できる関係性のある豊かな社会の創造を目指している。そして、日本における新しいダイバーシティの試みとして国内外へ発信するとともに、「TURN」の考え方や仕組み、場をレガシーとして継承していく。

<http://turn-project.com>

< 事業内容に関するお問合せ >

アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）事業推進室事業調整課

TEL 03-6256-8435（10:00～18:00 土日祝日を除く）

E-mail info@turn-project.com